

# 理研会報

発行  
印教研理科研究部  
事務局  
成田市立成田小学校  
成田市幸町948-1

教 研 参 加 報 出 口

根郷小 貝塚 健太郎  
臼井小 沼田 正信

第四十三次千葉県研究鴨川集  
に、印教支部を代表して参加さ  
せていただきました。

理科教育の小学校分散会では、  
一、よくわかり、児童が意欲をも  
つて取り組む理科指導はどうある  
べきか。二、地域の自然を育てる  
理科教育はどうあるべきか。とい  
う二つの研究主題のもと、各支部  
からの提案、それについての討議  
がもたれました。討議は、一子ど  
もたちの発達に即した自然への興  
味・関心をもたせる場の工夫、二  
地域の自然をふまえた環境教育の  
あり方、三科学的な物の見方や考  
え方を育てる指導のあり方、四地  
域の自然を生かした野外学習のあ  
り方、五よくわかる観察・実験の  
あり方を五つの柱として、行われ  
ました。

私たちの提案「自然への感受性  
を豊かにする理科学習はどうある  
べきか」―自然事象への関わりと  
大切にしたい環境教育への取り組み



は、助言者の先生からも、環境教  
育という視点から、理科教育を考  
えていくことは、これから益々大  
切になっていくだろう、との助言  
をいただきました。また、昨年の  
全国教研でも、これからの重要な  
課題としてあがっていたそうです。  
今後、授業実践を通して、研究  
を深めていきたいと思っています。  
他の支部の提案も、教材研究の  
仕方、指導方法の新しい試みとい  
う点から、たいへん勉強になりま  
した。このような機会を考えると下  
さった、理科研究部の皆様に、こ  
の場合をかりて、御礼申しあげたい  
と思います。二日間どうもありが  
とうございました。

富里中 今村 國博  
成田中 佐々木 猛  
※佐々木先生は今年度より佐倉市立  
成田中へ転任されました。

本年度の千葉県教育研究集会は  
十一月十二・十三日と二日間にお  
たつて鴨川にて行われ、分科会会  
場は鴨川中学校であった。私たち  
は初日の最初の発表で、計九支部  
からの発表があり活発な討議がな  
された。普通教室を使つての発表  
だったため会場を暗くすることが  
できず、私達の発表では光の学習  
の演示実験ができなくなつてしま  
つたのが心残りであった。助言者  
の先生からはコンピュータの活  
用と多くの先生方の協力がなされ  
ている研究発表であったという評  
価をいただいた。  
討議の内容は学習指導要領の改  
訂があつたためか、ほとんどが興  
味関心を高めるための指導のあり  
方や関心意欲態度の評価のあり方  
などであつた。興味関心を高める  
指導の工夫では東総支部の各学校  
における選択理科の指導実践報告  
、千葉支部の「電流の流れ方」「  
磁界」の指導を通して同じ疑問を  
持つ生徒どうしでグループを作り  
テーマを決め計画を立て実験を行  
う学習、山武支部の「天気とその  
変化」の学習での対流実験装置の  
開発、長生支部の「化学変化とイ  
オン」の学習における簡易伝導テ  
スターの活用、市原支部の校庭の  
内外に生息する昆虫の教材化など  
があつた。対流実験装置はシャボ  
ン玉の膜を利用した物で、実際に

演示実験がなされた。簡易伝導テ  
スターは電子ブザーがとりつけて  
あり電流が流れるとブザーがなる  
しくみになっている。これも実際  
に演示実験があつた。昆虫の教材  
化では教師たちが実際に昆虫を採  
集し標本を作成している。実際に  
作成された標本の提示があつた。  
評価のあり方では安房支部の学習  
の個性化を図るための個別学習の  
試みを通しての評価、夷隅支部の  
「運動とエネルギー」の学習を通  
しての複数の教師による評価、客  
観的な評価に基づくグループ編成  
による学習、君津支部の観察実験  
用紙の活用とレポート作成に関わ  
るノート指導などがあつた。

## 私の教育中大実践

### 地域と密着した 理科指導

二州小 富谷 稔

本校は八街市の南部に位置して  
おり、保護者に農業従事者が多い  
そこで、理科の授業でも、スイ  
カ・トマト・ジャガイモ・さつま  
いも・落花生・枝豆などを栽培し  
て授業に取り入れている。

以下、授業の実践の様子

#### ①「すいかの栽培」

本校の保護者からすいかを栽培  
するハウス一式とすいかの苗・肥  
料をいただいた。  
まず、三月上旬ハウスを保護

者の農家の方の指導で組み立て、  
次に土を耕して肥料を混ぜた。

すいかの苗を二十本いただいた  
五、六年生と植えた。

五月上旬には、お花とめ花が咲  
いて受粉をした。

六月下旬には、一つの苗から二  
個のすいかが収穫でき、みんなで  
試食をした。

このすいか栽培を通し  
て、実のなり方や受粉な  
どの学習を理解した。

#### ②「トマトの栽培」

すいかの後のハウスで  
トマト栽培を行った。

九月の運動会の後、ト  
マトの苗を植え、花が咲  
いた後、受粉を行った。

二・三週間後、真っ赤  
な実をつけた。

実ができなかつたもの  
については、受粉がうま  
くできなかったことがわ  
かった。

#### ③「落花生」栽培

全校で十月の収穫祭に  
むけて落花生づくりを実  
施した。

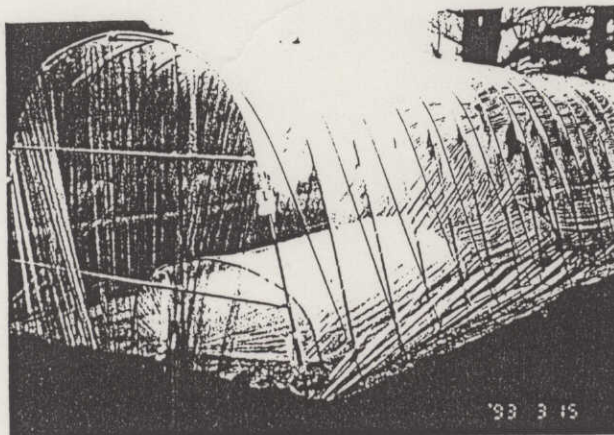
全校で畑づくりからはじめて、  
落花生の種をまいて、雑草とり・  
水まきなどを頑張った。

十月には、たくさん落花生が  
収穫でき、みんなで収穫祭をした。

#### ④その他

学校近くの小さな小川のタンタ  
ン洞、近くの落花生研究所の気象  
データ、学区内の産業廃棄物捨て  
場についての研究など地域のいろ  
いろなことについて調べたりした  
このようなことから、地域に密  
着した教材を用いることによって  
楽しく理科指導を実践することが  
できた。

※富谷先生は今年度より千葉市立  
成田第二小へ勤務されます。



すいか栽培の写真

## 編集後記

理研会報発行が遅くなりましたが、第二三四号をお届けします。  
今号では、既に五月の印教研総  
会時で報告がありました、昨年度  
の県教研への参加報告を掲載いた  
しました。また、実践報告という  
ことで、四部会 富谷先生の実践  
を掲載いたしました。  
今後、先生方の実践報告をた  
くさん掲載していきたいと思いま  
す。